

No.	区分 ご意見のあった 会議体等	ご意見		ご意見への対応					備考
		計画書該当箇所（修正前計画）	意見	修正 有無	計画書該当箇所（修正後計画）		意見への対応 （修正無の場合はその理由）		
		該当記述			頁数	該当記述（修正後）		再掲の有無及び再掲箇所	
1	環境審議会意見聴取	■主な取組の概要	現在のロードマップの主な取組の概要は一般的な取り組み項目が羅列されているだけで、実効性が感じられません。こうした取り組み項目の実施状況を確認しながら、できるだけ実施項目・実施内容を増やしてゆく必要があります。環境保全計画の環境指標のような数値目標と定期評価が必要と考えます。	無	41	—	—	本市はゼロカーボンシティ宣言をしたことから、2050年までの道筋を示すためロードマップを作成しています。2030年までは第3次環境保全計画（改訂版）と整合性を図って作成していることから、第3次環境保全計画（改訂版）の指標や基本方針等に基づき各施策を実施することでロードマップについても取組を進めて参りたいと思います。	
2	環境審議会意見聴取	現在設計している八千代市役所新庁舎は ZEB Ready を予定しており、今後他の公共施設の新設・改修時においても率先して ZEB 化を進めるとともに、市民や事業者への情報発信や支援により、市内における新築の ZEB・ZEH 化 100%を目指します。	市内の新築ZEB、ZEH 100%の前提として市庁舎から始めないと市の本気度が伝わらないと思います。	無	43	—	—	新庁舎につきましては基本設計を終えており ZEB Readyを予定しております。今後、他の公共施設の新築や改築の際には、設計段階で省エネ性能を明確にし、ZEBの標準化を進めます。改修についても、ZEB化を目指して施設の省エネ性能を高める検討を進めます。	
3	環境審議会意見聴取	全体について	具体的に、2030年までにどの分野でどのくらいという目標値を一覧にした方がわかりやすいと思います。	無	—	—	—	5.3二酸化炭素削減の目安において、分野別削減内訳を示させていただきます。	
4	環境審議会意見聴取	6行目：平成10年（1998年）は世界平均気温が最も高かった年でした。	2024年3月（ロードマップ刊行時）では、最高は2023年。	有	4	特に最近30年の各10年間の世界平均気温は、昭和25年(1950年)以降のどの10年間よりも高温となっています。中でも平成10年(1998年)は世界平均気温が最も高かった年でした。平成25年(2013年)には2番目に高かった年を記録しています。気象庁によると令和5年(2023年)の世界の平均気温の基準値からの偏差は+0.54℃で、明治24年(1891年)の統計開始以降、平成28年(2016年)を上回り最も高い値となりました。	—	ご指摘を踏まえ文章を修正させていただきました。	

No.	区分 ご意見のあった 会議体等	ご意見		ご意見への対応					備考
		計画書該当箇所（修正前計画）	意見	修正 有無	計画書該当箇所（修正後計画）			意見への対応 （修正無の場合はその理由）	
		該当記述			頁数	該当記述（修正後）	再掲の有無及び再掲箇所		
5	環境審議会意見聴取	2. 4. 2. 国における動向	GX及び「GX実現に向けた基本方針」について、解説が必要。	有	55	※用語集で対応	—	ご指摘を踏まえ説明を用語集に追記いたしました。	
6	環境審議会意見聴取	3. 2. 5 廃棄物分野 2行目：一般廃棄物に含まれるプラスチック類が主な排出源になっている。	これは、事実なのか？ こう言い切る根拠（実績データ）を明示すべきである。	無	18	—	—	温室効果ガス排出量の算定手法においては、生ごみなど生物由来のものはバイオマスとして焼却してもCO2が排出されない計算となっています。このため、CO2が排出されるものは化石燃料由来のごみ（プラスチックごみ、合成繊維）となっております	
7	環境審議会意見聴取	3. 4. 2. 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル	円グラフにあるように、再エネポテンシャルの53%（半分以上）が地中熱である。ただし、本文の記述のように、地中熱は導入困難であるため、ポテンシャルからは外すべきである。そうすると、市内の電気エネルギー使用量995千Wh/年に対し、ポテンシャルは4311（9173×0.47）となり、使用量の約半分にしかない。（これは、非常に由々しきことである。）	有	21	市内の電気エネルギー消費量訳995千MW h/年に対して再生可能エネルギー（電気）導入ポテンシャルは訳917…	—	地中熱につきましてはご指摘の通り本市において活用が難しいものではございますが、ポテンシャルとしては存在しているため、円グラフはそのままとさせていただきます。 ページ下部の図 再生可能エネルギー導入ポテンシャルとエネルギー消費量の比較におきましては、市内の電気の消費量と再生可能エネルギー（電気）の導入ポテンシャルの比較であることから、電気のポテンシャルとの比較であることがわかるように（電気）という表現を追加いたしました。	

3

No.	区分 ご意見のあった 会議体等	ご意見		ご意見への対応					備考
		計画書該当箇所（修正前計画）	意見	修正 有無	計画書該当箇所（修正後計画）			意見への対応 （修正無の場合はその理由）	
		該当記述			頁数	該当記述（修正後）	再掲の有無及び再掲箇所		
13	環境審議会意見聴取	八千代市の再生可能エネルギーの導入ポテンシャルは、電気が約3,302千GJ/年、熱が約5,870千GJ/年で、全体で約9,173千GJ/年となっています。	市内における再生可能エネルギーとして一次産業と連携したバイオマスエネルギー利用が見込まれる中で、そうした要素を一切排除した本計画は明らかに不可解なバイアスが働いています。電気及び熱利用におけるバイオマス資源の活用について再度精緻に評価すべきです。	無	21	—	—	本市は畜産が盛んですが、バイオマス資源利用の早期の具体化は難しいと考えます。しかしながら、今後も情報収集などに努め、利活用の可能性を検討していきたいと考えます。	
14	環境審議会意見聴取	基本的な考え方で示した3つのキーワードに基づいて、本市におけるゼロカーボンシティ実現に向けた方針を次に示します。	気候変動対策としてのゼロカーボンシティ実現は、その実現が2050年よりどれだけ早くても悪いというものではなく、最大限早期に実現されるべきものです。同時に、気候変動対策は私たちの生存に直結する問題であるという危機感を市民一人一人が共有し、速やかに取り組みの成果を上げていく必要があります。基本方針として、そうした危機感を明示した上で、基準年度に囚われない早期の取り組み実現を図る内容とすべきです。	有	34	…カーボンニュートラルを目指します。 <u>なお、気候変動対策は私たちの生存に直結する問題であるという現実を踏まえ、ロードマップの目標年度に囚われず、実施可能な取組については早期実現を図っていきます。</u>		ご指摘を踏まえ、5.5ゼロカーボンシティ実現に向けた取組（ロードマップ）に文章を追記いたしました。	
15	環境審議会意見聴取	①の記述	地中熱利用について、委員会の初期には有力な手法として大きく取り上げられていました。また、環境省では取り組みを進めているので、このことについても記述があっても良いのではないかと思います。地下水汚染の拡大を予防する手立ては、施工時にひと手間かけるだけです。対応は可能です。例えば、新潟市内にある地下街は夏場涼しく、冬場暖かく省エネ効果は高いと言えます。次期改定時にはぜひ、検討されると良いでしょう。	無	41	—	—	今後の検討課題とさせていただきます。	

No.	区分 ご意見のあった 会議体等	ご意見		ご意見への対応					備考
		計画書該当箇所（修正前計画）	意見	修正 有無	計画書該当箇所（修正後計画）			意見への対応 （修正無の場合はその理由）	
		該当記述			頁数	該当記述（修正後）	再掲の有無及び再掲箇所		
16	環境審議会意見聴取	計画の対象期間	ロードマップの見直しについては、環境保全計画と整合性を図る観点から同計画の見直しに合わせて見直しを行うべき。	有	2	令和12年度(2030年度)、令和22年度(2040年度)及び、社会情勢の変化等を踏まえそれら対応するために八千代市環境保全計画との整合性を図るため、同計画の見直しにあわせて原則5年ごとに見直す他、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。 ※図も文章に合わせて修正	—	ご意見を踏まえ修正いたしました。	
17	環境審議会意見聴取	—	八千代市の産業構造を踏まえた上で、事業者が取り組めるような省エネの事例を掲載すべき	有	42	事業者が取り組みそうな省エネの事例を記述したページを新設	—	ご意見を踏まえ事業者が取り組みそうな省エネの事例を記述したページを新設しました。	
18	環境審議会意見聴取	—	八千代市の産業構造を踏まえた上で、事業者が取り組めるような再エネ導入の事例を掲載すべき	有	45	事業者が取り組みそうな再エネ導入の事例を記述したページを新設	—	ご意見を踏まえ事業者が取り組みそうな再エネ導入の事例を記述したページを新設しました。	
19	第4回環境問題連絡会議	（仮称）八千代市地域脱炭素ロードマップ	ロードマップとは、プロジェクト全体を俯瞰的に描いた計画書であり、プロジェクトのゴールまでの道のり・道筋を時系列順にまとめた工程表とされています。今回の計画は目標値は示されているものの、対策の内容は〇〇の推進という記載で、具体的な施策やそれをいつ実施するなどの記載がないことから「基本計画」や「推進計画」とするのが適切ではないでしょうか。	無	—	—	—	今後、見直しを経てさらに事業を充実させていきたいと考えていることから、タイトルは変更無しとさせていただきます。	
20	第4回環境問題連絡会議	市長挨拶	計画書のトップに市長の発言が掲載されている計画は多いと思いますが、「計画策定にあたり」「はじめに」等が多く直接的な表現として「市長挨拶」はあまり見ない気がします。	有	—	市長挨拶はじめに	—	「はじめに」にタイトルを変更しました。	※併せて第3次環境保全計画の「市長挨拶」も「はじめに」に修正

No.	区分 ご意見のあった 会議体等	ご意見		ご意見への対応					備考
		計画書該当箇所（修正前計画）	意見	修正 有無	計画書該当箇所（修正後計画）			意見への対応 （修正無の場合はその理由）	
		該当記述			頁数	該当記述（修正後）	再掲の有無及び再掲箇所		
21	第4回環境問題連絡 会議	都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線、3・3・7号大和田駅前萱田線、といった都市幹線道路、そのほか県道や市道によって形成されています。	【修正案】 都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線、3・3・7号大和田駅前萱田線、といった都市幹線道路（ <u>一部供用開始済</u> ）、そのほか県道や市道によって形成されています。 【ご意見】 地図と併せて見た際に、3・4・1及び3・3・7が全て開通しているように見えてしまうため	有	13	都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線、3・3・7号大和田駅前萱田線、といった都市幹線道路（ <u>一部供用開始済</u> ）、そのほか県道や市道によって形成されています。	—	ご指摘のとおり修正しました。	
22	第4回環境問題連絡 会議	出典：八千代市都市計画マスタープランより幹線道路方針	【修正案】 出典：八千代市都市計画マスタープランより幹線道路方針 【ご意見】 正式名称「八千代市都市マスタープラン」	有	13	出典：八千代市都市計画マスタープランより幹線道路方針	—	ご指摘のとおり修正しました。	
23	第4回環境問題連絡 会議	映画館やレストラン、銀行等地域に便利なサービスを提供する事業者が拡充されてきて来たことが関わっていると推察されます。	【修正案】 映画館やレストラン、銀行等地域に便利なサービスを提供する事業者が拡充されてきて来たことが関わっていると推察されます。	有	16	映画館やレストラン、銀行等地域に便利なサービスを提供する事業者が拡充されてきて来たことが関わっていると推察されます。	—	ご指摘のとおり修正しました。	※併せて第3次環境保全計画のどう表現の箇所修正
24	第4回環境問題連絡 会議	⇒施策の方向性 ・ ・ 公共交通、自転車など	【修正案】 ⇒施策の方向性 ・ ・ 公共交通など 【ご意見】 市内には、狭く交通量の多い道路があり、現状として自転車の普及を図るのは時期尚早と思われるため、自転車の表現を削除した方がよろしいのではないのでしょうか。	無	26	—	—	自転車の利用については、今後脱炭素社会を推進していく上で必要な移動手段と考えていることから、修正無しとさせていただきます。	
25	第4回環境問題連絡 会議	将来ビジョンで位置付けられている廃棄物処理施設でのCCUS	市街化調整区域では、許可要件が厳しく廃棄物処理施設は特定の要件をクリアしないと設置できません。また一般的には迷惑施設に分類される施設です。将来ビジョンの廃棄物処理施設は清掃センターを意味しますか？それとも既存廃棄物処理施設で行う事を想定しているのか、または新たに誘致するという方針なのか。それによっては今後の開発許可制度の運用に影響が生じます。	無	27	—	—	将来ビジョンはあくまでもイメージであり、イラストの設置場所での事業を実施することを意味するものではありません。よって廃棄物施設が清掃センターを指すとも、新しく誘致する施設を指すとも決まっているわけではありませんが、将来的にとり得る施策の例として提示しているものとなります。	

No.	区分 ご意見のあった 会議体等	ご意見		ご意見への対応				備考	
		計画書該当箇所（修正前計画）	意見	修正 有無	計画書該当箇所（修正後計画）		意見への対応 （修正無の場合はその理由）		
		該当記述			頁数	該当記述（修正後）			再掲の有無及び再掲箇所
26	第4回環境問題連絡 会議	将来ビジョン内 「北部 次世代自動車（路線バス のイラスト）」 「南部 グリーンスローモビリ ティ」	当該エリアでの導入計画があるように 誤解を与えかねないため、イラストの 修正、位置修正及び下段に注釈の追加 をお願いしたい。	有	27	図の修正及びイラストの下に注意 書きを追加	—	ご指摘を受けグリーンスローモビ リティのイラストを北部に移した ほか、次世代自動車のバスのイラ ストを乗用車に差し替え下部に注 意書きの文章を追加しました。	
27	第4回環境問題連絡 会議	ごみと家計の無駄が減り、暮らし がスムーズになったことを実感す る	【修正案】 ごみと家計の無駄が減り、暮らしがス ムーズになったことを実感する。 【ご意見】 他の吹き出しは句点がついているた め、統一した方が良いです。	有	38	図の中の文章に句点を追加	—	ご指摘のとおり修正しました。	
28	第4回環境問題連絡 会議	9行目 八千代市役所新庁舎はZEB Readyを予定しており、～率先し てZEB化を進めるとともに、市民 や事業者への情報発信や支援によ り、市内における新築のZEB・ZEH 化100%を目指します。	【修正案】 「ZEB・ZEH化100%目指す」 →「ZEB・ZEH化の更なる推進を図りま す。」など 【ご意見】 本市新庁舎はZEB Readyにも係わら ず、民間の新築時にはZEB・ZEH化100% を目指す（求める）のは、市のCO ₂ 削 減に向けた取組み姿勢として矛盾を感 じます。また、その際の支援策の強化 は環境部局で所管ということによろし いでしょうか。	無	43	—	—	ご指摘のとおり強い表現を使っ ておりますが、社会情勢として脱炭 素化の流れは加速しており、2050 年までの計画でもあることからこ の表現を残したいと考えておりま す。	
29	第4回環境問題連絡 会議	推進方策 ●公共施設、公共空き地への太陽 光発電の率先導入	【修正案】 「率先導入」 →「導入検討」 ※他に適切な表現があればそれでも可 【ご意見】 「率先導入」に関しては、全庁的な取 組みが必要と考えますが、義務付けま で考えているのでしょうか。また公共 空地への設置も検討するということ でよいのでしょうか。	無	44	—	—	公共施設への義務付けにつしまし ては、今後導入の状況などを考慮 し、状況によって検討する可能性 があります。公共空地も導入効果 等を勘案する必要があると思われ ますが、導入対象になり得ると考 えます。	
30	第4回環境問題連絡 会議	八千代市都市計画マスタープラン	【修正案】 八千代市都市計画マスタープラン 【ご意見】 正式名称「八千代市都市マスタープラ ン」	有	54	八千代市都市計画マスタープラン	—	ご指摘のとおり修正しました。	

No.	区分 ご意見のあった 会議体等	ご意見		ご意見への対応				備考	
		計画書該当箇所（修正前計画）	意見	修正 有無	計画書該当箇所（修正後計画）		意見への対応 （修正無の場合はその理由）		
		該当記述			頁数	該当記述（修正後）			再掲の有無及び再掲箇所
31	第4回環境問題連絡 会議	八千代市緑の基本計画～、緑豊かなまちづくりを図ることを目的に平成28（2016）年度に策定された計画で、計画期間は20年間です。	【修正案】 八千代市緑の基本計画～、緑豊かなまちづくりを図ることを目的に <u>平成29（2017）年度に改定</u> された計画で、計画期間は20年間です。 【ご意見】 当初計画は平成１５年に策定されており、平成２９年度には改定を行っています。	有	55	緑豊かなまちづくりを図ることを目的に平成28（2016） <u>平成29（2017）年度に改定に策定</u> された計画で、計画期間は20年間です。	—	ご指摘のとおり修正しました。	※併せて第３次環境保全計画の用語集も修正
32	第4回環境問題連絡 会議	例） P3.『IPCC第6次評価報告書によると、』 P6.『IPCC第６次評価報告書では、』	数字の記載で、全角と半角が混在しているので、統一した方が良いです。	有	—	全体を見直し全角・半角の統一を図りました。	—	数字は一桁は全角、二桁以上は半角で作成しておりますが、規定通りになっていない箇所が無いか確認し修正しました。	
33	第4回環境問題連絡 会議	—	全体的にもう少し経費の裏付けが欲しかった感じです。また、今回の議題対象ではありませんが、ロードマップについて公表する前に全庁への周知、意見をもらう必要があると思います。	無	—	—	—	ご指摘のとおり計画書の案につきましてGWで周知を行いました。	
34	事務局修正	本市は工業団地や比較的エネルギーを必要とする食品製造工場を有していることから、	この記述だと工業団地の他に食品製造工場があるように読み取れる。	有	16	本市は工業団地が有り、 <u>中でもや比較的エネルギーを必要とする食品製造工場を有していることから、</u>	—	文章を修正しました。	
35	事務局修正	図 温室効果ガス総排出量（CO2換算）の推移 令和4年度 49,359	令和4年度の数値修正	有	19	図 温室効果ガス総排出量（CO2換算）の推移 令和4年度 49,359 <u>49,361</u>	—	数値を修正しました。	
36	事務局修正	市内の電気のエネルギー消費量約995千 MWh/年に対して再生可能エネルギー導入ポテンシャルは約917MWh/年となっており、	917のあと「千」が抜けている	有	21	市内の電気のエネルギー消費量約995千 MWh/年に対して再生可能エネルギー導入ポテンシャルは約917 <u>千</u> MWh/年となっており、	—	「千」を追加しました。	